

地方創生交付金（26年度補正予算）における農林水産施策の概要

- 「『まち』『ひと』『しごと』の創生と好循環の確立」のため、「徳島への新たな人の流れ」、「地域の暮らし、働く人の希望の実現」、「地域の活力の創造」を図る。
- 「地方創生」の実現には、本県の基幹産業である農林水産業がポテンシャルを最大限発揮し、成長産業となるための取組が必要不可欠。
- 農林水産部として、総額4億900万円の交付金事業を措置。

①「とくしま回帰」の加速

(「ひと」のとくしま回帰)

・青年漁業者就業給付金モデル事業【20,000千円】

若者の漁村地域への定住や漁業への定着を図るため、全国に先駆け、青年漁業者の就業直後の所得を確保する給付金制度をモデル的に実施し、都会で働く若者の地方回帰を加速する。

・農業するなら徳島で！就農研修支援事業【90,000千円】

本県への移住や定住による農業の担い手を確保するため、就農希望者に対象とした現地見学ツアーを開催するとともに、農家等での就農実践研修に安心して取り組めるよう所得支援を行う。

・県営林活用人材育成・交流促進事業【42,000千円】

林業従事者のキャリアアップや新規就業者の確保に向けた研修の実施、県内外大学生等の研究フィールドの確保及び新たな交流の場を創出するため、既存の研修棟を改修して、県営林等を活用した「プロフェッショナルの森」や「研究の森」を整備し、各種研修や交流事業等を実施する。

(「しごと」のとくしま回帰)

・「アグリサイエンスゾーン」創出事業【130,000千円】

農林水産業の成長産業化を図るため、農林水産総合技術支援センターに試験研究機器や設備を整備し、オープンラボとして徳島大学「生物資源産業学部(仮称)」をはじめとする大学や企業等に開放するなど、関係機関との連携を強化した「アグリサイエンスゾーン」を構築し、新技術の早期開発を促進する。

②地域における仕事づくり

・次世代「園芸産地」創生事業【20,000千円】

5年後を見据えた県内園芸産地の活性化を図るため、次代を支える生産者の「意欲」と地域が持つ「資源」を活かした「人材の育成・確保」「生産基盤の強化」や「新技術等の導入モデル園の設置」などに取り組む。

・「6次産業化課題解決プロジェクト」連携推進事業【40,000千円】

県と徳島大学が中心となり組織した「徳島6次産業化課題解決プロジェクトチーム」で汲み上げた「現場の声」の具体的な課題解決を図るために、県内各地で展開する「プロジェクト」の推進に必要な取組を支援する。

・データ活用「ブランド戦略」支援事業【12,500千円】

ブランド戦略を強力に展開するため、生産者団体や関係機関の持つ様々なデータを一元的に取りまとめ、効果的なマーケティング活動を実施する。

・とくしまの「食」マーケティング強化事業【35,000千円】

若手生産者等のチャレンジを支援するため、首都圏など大都市において戦略的な情報収集や販売促進の拠点づくりを進めるとともに、首都圏のOJTをターゲットとした営業活動や大手企業との連携による情報発信や販路拡大を図る。

・農業女子活躍促進事業【4,000千円】

女性の参画による地域農業の振興を図るため、女性の視点による農山漁村地域活性化に向けたモデル事業の実施及び新商品の開発や販路開拓などの新しい農業ビジネス展開に向けた支援を行う。

・有機農産物等地域ブランディング支援事業【4,000千円】

有機農産物等の生産・販路拡大を図るため、「生産技術の導入」、新たな機能性表示やデザイン化による「地域ブランディング」、「都市圏在住者への販路拡大」などの取組を支援する。

③活力ある暮らしやすい地域づくり

・未来ある農山村育成支援事業【4,500千円】

農山村の維持・活性化に取り組む「新たな集落づくり」を進めるため、大学等の外部専門家による研修会や「T型集落点検」の手法を活用したワークショップ等により、人口減少社会に立ち向かう魅力と活力にあふれた未来志向の農山村づくりを支援する。

・とくしま木育交流施設整備事業【7,000千円】

県産材を活用した地域コミュニティーの活性化や、安心して子育てのできる地域づくりを実現するため、商店街の空き店舗や、公共施設の空きスペースを木質内装化し、「木育」や「子育て支援」、「多世代交流」の場となる多機能型拠点を設置するとともに「県産材製品の普及」を図る。